

アジサイの新品種育成

特産開発グループ 女鹿田博之

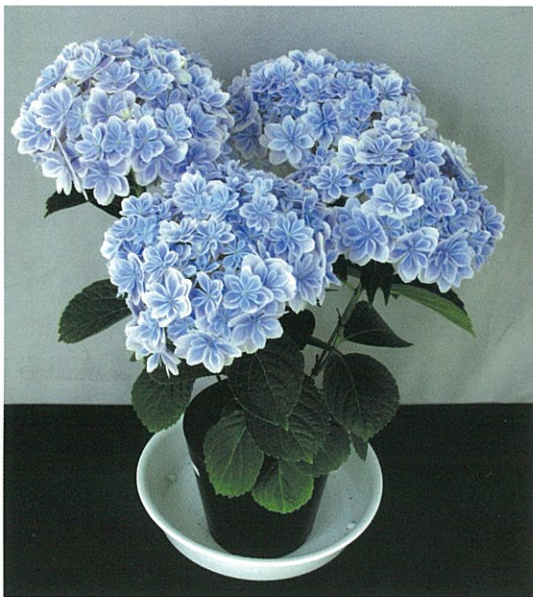
「シクラメン」が主体である島根県の鉢花生産での経営改善を目的として、母の日需要が期待できる「アジサイ」の導入に向けたオリジナル品種の開発を行い、新品種‘万華鏡’と‘美雲’を育成しました。

○育成経過

八重ガク咲き品種‘隅田の花火’を母、一重テマリ咲き品種‘ミセスクミコ’を父とした交配育種によりF₁個体を育成し、これを自家交配し様々な花型、花色のF₂個体を得ました。育成には、胚珠培養技術を用い、育種年限の短縮も図りました。

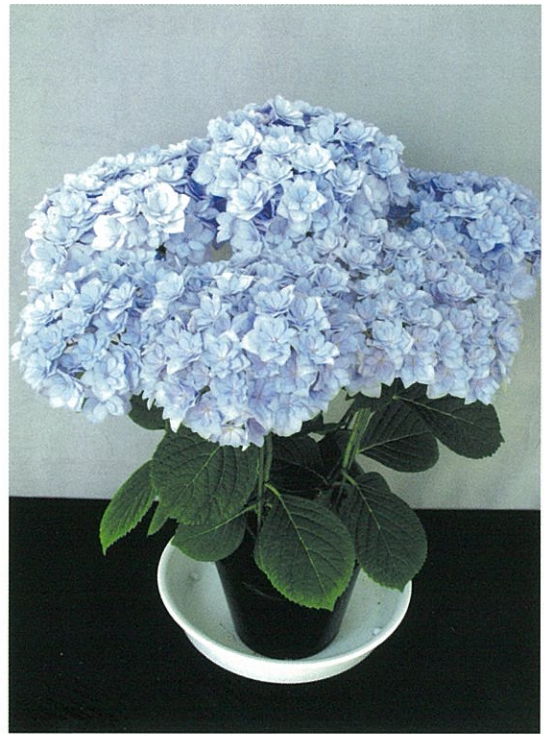
こうして得られた多数のF₂個体の中から、生産者等を交えた選抜会と市場求評調査を経て八重テマリ咲きの2系統を有望系統として選抜しました。

○特性概要



品種名：万華鏡 まんげきよう (商標第 5472417 号)

- ・八重テマリ咲きタイプ
- ・花色のグラデーションが特徴
- ・ブルーとピンク両方の発色が可能
- ・伸長性弱く鉢物向き
- ・品種登録出願中



品種名：美雲 みくも (商標第 5472416 号)

- ・八重テマリ咲きタイプ
- ・花付きが良い
- ・灰色味がかったブルーの花色が特徴的
- ・ブルーとピンク両方の発色が可能
- ・品種登録出願中

○おわりに

両品種ともに生産現場への導入を進めており、本年‘万華鏡’が初出荷され市場から高い評価を得ました。

ただ、‘万華鏡’は従来の品種に比べ根の発達が弱いため、特に花色がピンクの株では使用する用土の配合や水分管理の改善が必要です。また、‘美雲’でも草丈が伸び過ぎず、鮮明な花色が得られるような肥培管理技術が求められています。

これらの課題解決に取り組むとともに、2品種につづく系統の育成を継続し、特性調査、現地実証を行いながら品種化を進めていきます。